

平成31年度
付属中学校入学試験問題
社 会

〔注意事項〕

1. 試験開始の合図があるまで問題を開かないこと。
2. 解答は必ず解答用紙に記入すること。
3. 出身小学校名、氏名、受験番号を解答用紙に記入すること。
4. 試験終了の合図があったら鉛筆をおき、解答用紙の回収がすむまで席を立たないこと。

第1問 次の会話文やパネルを参考にして、各問いに答えなさい。

○しげおくとりえさんは、歴史博物館に行き、戦争についての展示を学芸員の木山先生と見てまわることにしました。

しげおくん：戦争って聞くと近代の国と国との争いみたいなイメージがあるけど、昔からあったものなんですか？

木山先生：確かに戦争は国と国との争いのことを言います。だけど、広い意味で集団と集団の争いも戦争って言うんですよ。

しげおくん：そうなんですね。じゃあ、日本の歴史の中で争いが行われるようになったのは、いつぐらいの話なんですか？

木山先生：右の展示パネルを見てください。今から2000年くらい前の弥生時代に争いが始まったとされています。



りえさん：弥生時代になると①稲作が始まったことにより、その生産物をめぐって争いが起こったんですね。

木山先生：そうですね。でも弥生時代は今から2000年くらい前のことだけど、何でそれが分かるんだろう？②その証拠が下の二つのパネルにあります。

しげおくん：うーん、難しいねえ。

りえさん：教科書にもあったよ。弥生時代の集落跡である③吉野ヶ里遺跡は（ 1 ）などがあったことから、争いに備えていたことが分かるよ。



しげおくん：記録としては残っていないんですか？

木山先生：そうですね。（ 2 ）の史料に争いがあったことが記述されています。この史料には [] ということが記述されているよ。最終的に④邪馬台国という国が成立したんだ。

問1 会話文中の（ 1 ）に入る語句を答えなさい。

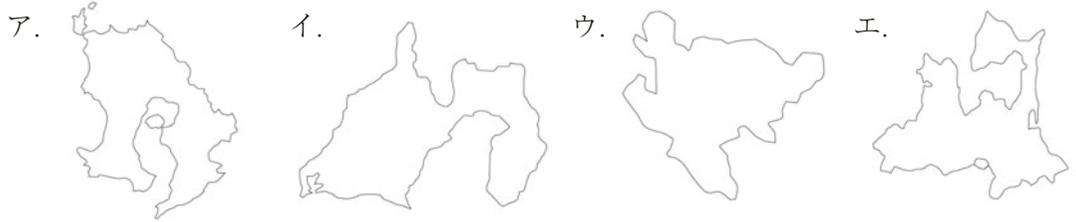
問2 会話文中の（ 2 ）に入る国名を答えなさい。

問3 下線部①について、米づくりの一般的な手順について順番に並べかえ、記号で答えなさい。

ア. 代かき イ. 稲刈り ウ. 草取り エ. 田植え オ. 田おこし

問4 下線部②について、二つのパネルを見てなぜ争いがあったことがわかりますか。文章で答えなさい。

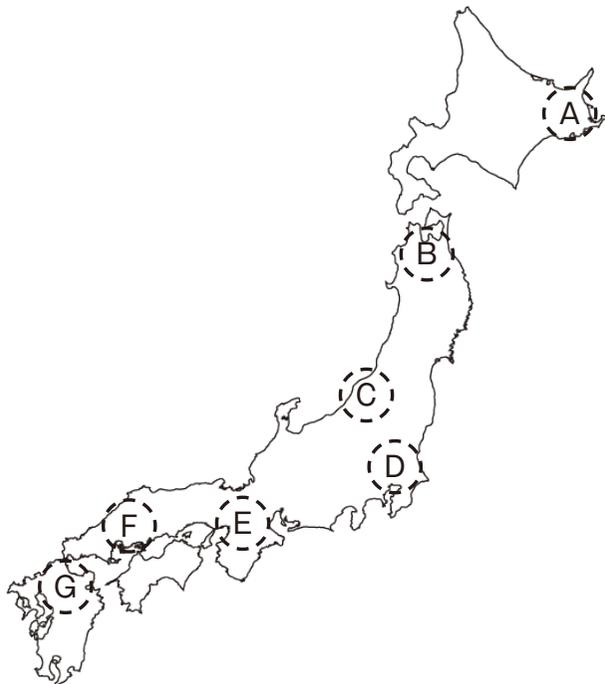
問5 下線部③について、吉野ヶ里遺跡は現在のどの都道府県にありますか。下から選び、記号で答えなさい。



問6 会話文中の [] に入る文として正しいものはどれですか。下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 日本と呼ばれていた国があり、その中には100の小国があり、大陸に遣^{つか}いを送ってきた小国もあった。
- イ. 倭^わと呼ばれていた国があり、その中には二つの小国があり、それぞれが争っていた。
- ウ. 倭と呼ばれていた国があり、その中には100の小国があり、大陸に遣いを送ってきた小国もあった。
- エ. 日本と呼ばれていた国があり、その中には二つの小国があり、それぞれが争っていた。

問7 下線部④について、邪馬台国の所在地をめぐっては大きく二つの説が主張されています。下の地図からその二つを選び、アルファベットで答えなさい。



第2問 次の会話文やパネルを参考にして、各問いに答えなさい。

○しげおくんとりえさんは、中世・近世のコーナーの展示を見学しました。そこでは、^{ながしの}長篠の合戦が取り上げられていました。



中世の戦争

長篠の合戦 (1575年)

解説： _____

問8 あなたなら、長篠の合戦に関するパネルの解説にどのような説明文を書きますか。
次の語句をすべて使って書きなさい。

[鉄砲 騎馬隊 織田 武田]

しげおくん：中世では多くの戦いがあったんですね。

木山先生：戦国時代と言われるだけあって、多くの戦いがありました。⑤大阪の役で⑥徳川家康が豊臣家を滅ぼし、それ以降戦いはほとんどなくなりました。

りえさん：だから江戸時代は泰平の世と呼ばれるんですね。合戦がなかったぶん、⑦文化や⑧産業が発達したんですよ。

木山先生：そうですね。確かに文化や産業は発達しました。それだけでなく、戦うことを専門としていた武士の役目も変わってきました。

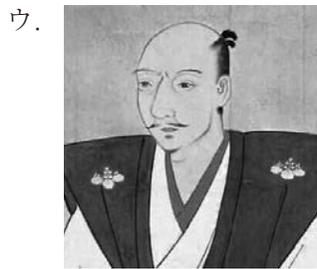
りえさん：学校の授業でも習いました。武士は⑨学問をすることが重要な仕事になっていったんですね。

木山先生：でも、もし戦争が起こったらいつでも戦えるように武芸の訓練をしていたんですよ。

問9 下線部⑤について、大阪の役は方ほう広寺の鐘に記された文字がきっかけとなって始まったとされています。なぜこれが争いのきっかけになったのですか。その理由を考えて、文章で答えなさい。



問10 下線部⑥について、徳川家康の画像はどれですか。下から選び、記号で答えなさい。



問11 下線部⑦について、この時代、独自の文化を発展させた地域として沖縄と北海道があります。下の二つの画像は、それぞれ沖縄と北海道の同じ時季のものです。なぜ同じ時季であるのに、様子に違いが生じるのでしょうか。国土の地形の特色にふれながら、その理由を文章で答えなさい。



沖縄



北海道

問12 下線部⑧について、北陸地方では高い技術を必要とする産業が発達しています。下のア～エは地図中A～Dのどの地域で発達した産業ですか。それぞれアルファベットで答えなさい。

ア.



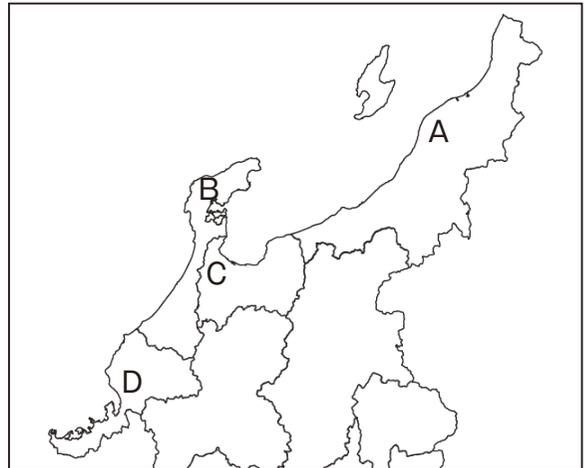
イ.



ウ.



エ.



問13 下線部⑨について、江戸時代の学問に関する下の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

A 西洋の学問に興味をもった私は、オランダ語の解剖かいぼうに関する本を翻訳し、新しい学問が発展するきっかけをつくった。

B 松阪まつさかに住む私は、古事記などを研究して仏教や儒教じゅきょうが伝来する前の日本人の思想を明らかにしようとした。

(1) A・Bの文中の私は、それぞれ誰ですか。下の画像から選び、記号で答えなさい。

ア.



イ.



ウ.



エ.



(2) Aについて、彼が翻訳して出版したこの本の題名を答えなさい。

(3) Bについて、彼によってまとめられた学問を何といいますか。

第3問 次の会話文やパネルを参考にして、各問いに答えなさい。

○しげおくんとりえさんは、近代・現代のコーナーへと進んでいきました。

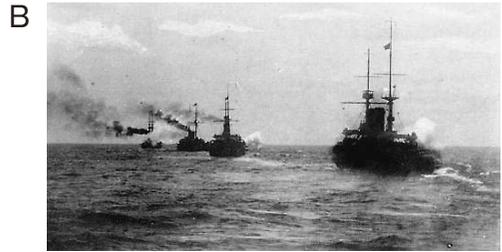
しげおくん：近現代になると、多くの戦争が発生したんですね。

木山先生：世界の国々が自国のために争ったんだよ。

りえさん：日本がかかわった代表的な戦争は下のパネルの四つなんですね。



(1894 ~ 95)



(1904 ~ 05)



(1914 ~ 18)



(1939 ~ 45)

木山先生：パネルCのあと世界平和を目指すために、() という組織ができたんだよ。

しげおくん：あ、そういえば、パネルDの戦争のあとにも⑩国際連合という組織がつけられたんですね。

りえさん：国際連合では戦争・紛争ふんそうの予防や※調停・復興支援ちゆうていなどにも取り組んでいるんですね。

木山先生：よく知ってるね。国際連合の加盟国として、日本は⑪政治や経済の面でも世界の平和を実現するための大きな役割を果たしています。ただ、世界ではまだ多くの紛争が起こっているの、国際連合には課題もあると言えるんじゃないかな。

しげおくん：これからの平和な世界を築くために、課題の解決に向けてどのような努力をすれば良いか考えていく必要がありますね。

※ 調停：両方の間に立って争いをやめさせること

問14 上のパネルCの戦争名を漢字で答えなさい。

問15 会話文中の()に入る語句を漢字四字で答えなさい。

(中社6)

問16 下線部⑩について、国際連合の旗を下から選び、記号で答えなさい。

ア.



イ.



ウ.



エ.



問17 下線部⑪について、下の文章を読んで、それぞれの（ ）に入る語句の組合せが正しいものを選び、記号で答えなさい。

日本の政治は、立法を（ 1 ）が、行政を（ 2 ）が、司法を（ 3 ）が担当するといったように、国の重要な役割を分担することによって権力が一つの機関に集中しないしくみになっています。このしくみを三権分立といいます。

ア. (1) 内 閣 (2) 国 会 (3) 裁判所

イ. (1) 裁判所 (2) 内 閣 (3) 国 会

ウ. (1) 国 会 (2) 裁判所 (3) 内 閣

エ. (1) 国 会 (2) 内 閣 (3) 裁判所

問18 波線部について、国単位だけでなく地球規模で物事を考え、結びつきを深めていくことが重要だとされています。そこで、世界平和を築くためにはどのような行動を取ることが必要ですか。考えて書きなさい。

